

令和8年度 デイサービスセンターえびすの郷事業計画

1 基本方針

(1) 中期経営計画（2年目）の推進

昨年度に引き続き、中期経営計画の当法人の基本理念や経営ビジョンを実現するための4つ柱（①安定した法人運営を目指します、②質の高いケアの提供を目指します、③人材育成と魅力ある職場づくりを目指します、④地域福祉の推進を目指します）をもとにした推進項目について、それぞれ具体的な取り組み内容を定め、確実に事業運営を実施します。

(2) 人権侵害防止の取組みの強化

人権侵害防止に対する意識化及び課題に対する改善策を実践することでサービスの質の向上に努めます。

ア 高齢者虐待防止委員会の強化

高齢者虐待防止委員会を毎月開催し、高齢者虐待などの人権侵害防止に対する取り組みを強化します。

イ 職員研修の実施

高齢者虐待防止委員会が中心となり高齢者虐待及び身体的拘束などの人権侵害防止のための研修を企画し、年2回開催します。

ウ 定期的な職員への面談

定期的な職員への面談やストレスチェックを実施することで、職員の悩みやストレスの軽減を図ります。

2 中期経営計画の4つの柱

(1) 安定した法人運営（目標稼働率）

ア 稼働率

令和8年度の稼働率は中期経営計画に基づき、1日あたりの平均利用者28人（稼働率80.0%）を目標とします。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (1月末)	令和8年度
デイ1日当たりの利用者数 (定員⑤⑥30人→⑦35人)	16.4人 (54.8%)	18.6人 (63.6%)	25.5人 (72.8%)	28.0人 (80.0%)

イ 稼働率確保方策

項目	説明
顧客確保への積極的取組み	安定的な事業運営を継続させるため、予算稼働率の確保が必要です。このため、新規顧客確保に向けてサービスの充実を図り、効率的な介護の提供体制を整備し、適正な加算取得に向けた検討を積極的に実施します。 a 平均利用率80.0%の確保 登録者数80名以上を確保し、体調不良、ショートステイ利用などのデイサービス利用者のキャンセルによる稼働率の低下を防ぎます。 b デイサービスセンターの内容、強み（夕食の提供、ショー

	<p>トステイの併設など)を居宅介護支援事業所などに対し積極的にPRを行い、知名度を上げるとともに、強みを理解してもらい利用者の獲得に繋がります。</p> <p>c 併せて、服部病院に隣接していることで、利用者の急変時の迅速な対応などが可能であることを、PRします。</p> <p>d ホームページを定期更新し、常に新しい情報の見える化を図ります。また、ブログやお知らせでデイサービスの取り組みや利用者の日々の様子などを発信し、利用者の獲得につなげます。</p>
居宅介護支援事業所との連携強化	<p>a 居宅介護支援事業所に訪問し、ニーズに応じたサービスメニューを検討・実施します。</p> <p>b ケアマネジャーに対し利用者の詳細な情報などを伝え、信頼関係を構築し、新規利用者の紹介に繋がります。</p> <p>c 居宅介護支援事業所が主催するサービス担当者会議に参加し、担当者会議の内容を事業所内で迅速、かつ、適正に共有しサービスの質の向上を図ります。</p>
その他	<p>a 事故防止委員会でリスクマネジメントに関する項目をもうけて調査検討します。</p> <p>b 感染症の発生及び蔓延などに関する取り組みを徹底するため、マニュアルの更新・整備を行います。</p>

(2) 質の高いケアの提供

項目	説明
認知症介護実践者研修修了者の確保	認知症実践者研修の修了者2名(令和8年3月末現在)であり、新たに1名を受講させます。
喜ばれる食事サービスの提供	<p>喜ばれる食事提供を行うため、課題分析、サービス内容の検討を進め、より良い食事を提供します。</p> <p>夕食の準備が大変、栄養バランスの整った夕食を取りたい、一人で食べる夕食は寂しいなどのご利用者やご家族のご要望にお応えして夕食の提供を継続します。</p>
介護サービス	食事・入浴・排泄においては、ADLの状況に応じた個別援助の徹底と転倒など、事故防止に万全を期します。また、介護に際しては、日常生活動作訓練の機会を捉え、機能訓練と連動した、自立支援・在宅の介護軽減を視野に入れた、介護姿勢で取り組みます。
健康チェック	細心の観察力を養い血圧、検温などのバイタルチェックを実施し、身体の状態を把握して健康管理への助言を行なうとともに、必要に応じ専門医への受診の促がすなど、疾病の早期発見を促す。
入浴	健康状態をチェックして安全な入浴に配慮するとともに、みだしなみ・清潔保持に対する自立支援への機会とします。また、

	心身ともに疲れを癒すような入浴が出来るよう雰囲気作りに努め、皮膚疾患等の早期発見の場面としても捉えます。																												
安全・快適な送迎	送迎は安全・快適を最優先とし、特に車への乗降時の介助・走行中の車酔い・座席からの転落などについては、万全を期します。また、安全な送迎場所の確保と利用者の状態に応じて車椅子など、専用車両での送迎にあたります。																												
行事など	<p>社会的交流の支援、趣味・嗜好の充足、心身の機能回復・減退防止を図るとともに楽しい通所介護とするため、これまで以上に季節行事などを取り入れます。さらに、ボランティアの積極的な導入により、多様な個別嗜好の充足を図るとともに、行事運営の一層の充実を図ります。</p> <p>【主な施設行事】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>行事名</th> <th>月</th> <th>行事名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>お花見</td> <td>10月</td> <td>室内運動会、秋祭り</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>端午の節句</td> <td>11月</td> <td>紅葉狩り</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>あじさいドライブ</td> <td>12月</td> <td>クリスマス会</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>七夕</td> <td>1月</td> <td>新年祝賀会、福笑い</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>夏祭り</td> <td>2月</td> <td>節分会</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>敬老祝賀会</td> <td>3月</td> <td>ひな祭り</td> </tr> </tbody> </table>	月	行事名	月	行事名	4月	お花見	10月	室内運動会、秋祭り	5月	端午の節句	11月	紅葉狩り	6月	あじさいドライブ	12月	クリスマス会	7月	七夕	1月	新年祝賀会、福笑い	8月	夏祭り	2月	節分会	9月	敬老祝賀会	3月	ひな祭り
月	行事名	月	行事名																										
4月	お花見	10月	室内運動会、秋祭り																										
5月	端午の節句	11月	紅葉狩り																										
6月	あじさいドライブ	12月	クリスマス会																										
7月	七夕	1月	新年祝賀会、福笑い																										
8月	夏祭り	2月	節分会																										
9月	敬老祝賀会	3月	ひな祭り																										

(3) 人材育成と魅力ある職場づくり

ア 目標管理・効果的な研修の実施

職員教育を目的とした人材育成計画に基づき、職員自身が目標を設定し目標を達成する過程を管理する目標管理制度及び新人職員研修（チューター制）を着実に実施するとともに、フォローアップ研修（2年目）の内容を見直し、効果的な研修を行います。特に、新任職員に対して、新任職員研修やチューター制を活用し、基本理念・介護倫理の理解、介護の専門的な技術向上に取り組みます。また、ユニットリーダー会議などを通じて、外国人介護職員の出身国の文化を理解し、円滑なコミュニケーションが図れる環境整備に務めます。

イ ICT・新技術の導入検討、役割分担の明確化

生産性向上委員会において、現場における課題を抽出・分析し、①業務プロセスの見直し（5S活動、業務の見える化）、②ICT・新技術の導入検討、③役割分担の明確化を行い、業務改善を組織的かつ継続的に推進します。

(4) 地域福祉の推進

項目	説明
地域交流など	福祉情報の発信、ほっとかへんネットみき、民生・児童委員などとの連携を図り、地域福祉の推進を図るとともに、トライやる・ウィーク、高校生の見学（講師派遣）、ボランティアの受け入れなどを積極的に行います。
共同事業	えびすの郷祭りにおいて、近隣の住民も参加出来るよう調整し、開催します。